

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 岩手県農村青年クラブ連絡協議会

取材担当 岩手県農村青年クラブ連絡協議会事務局 千葉 彩香

岩手県農村青年クラブ連絡協議会は、県内の青年農業者が相互に連携し、自らの農業経営の向上を図るとともに、よりよい農村の創造に努めることを目的として活動しています。年3回ほど研修や交流等の事業を主催するとともに、随時、東北各県や全国の青年農業者との交流を行っています。

令和7年度は、活動スローガンを「魅力発信 ～広げようクラブ員の輪～」とし、就農志向者や新規就農者、クラブ員以外の青年農業者等も巻き込んだ活動の展開を目指してきました。

9月は「岩手県農村青年クラブ大会」を開催し、県央地域の観光農園や地元産ぶどうを加工するワイナリーなど6次産業化の取組について学びながら、交流を深めました。

11月は、クラブ員の提案により、バイオ炭の農業活用についての研修会を、県内にプラントを持つ企業から講師を招いて開催しました。

2月に開催した「アグリネットワーク 2026 青年の集い」では、県内の青年農業者が取り組むプロジェクトについての発表、農業を専門とする税理士を講師とした農業経営改善についてのグループ演習、交流会を行いました。

協議会では、引き続き、新規就農者や青年農業者等の仲間づくりや相互研鑽の取組を進めていきます。



県クラブ大会・観光農園での収穫体験



アグリネットワーク 2026 青年の集い